

## 第18号 令和7年度長崎市中央卸売市場事業特別会計予算

### 目次

【ページ】

#### 1款1項1目 中央卸売市場管理費

1 中央卸売市場あり方検討委員会費 ..... 2～6

2 中央卸売市場開設50周年記念事業費 ..... 7～9

#### 【参考資料】

中央卸売市場事業特別会計当初予算比較表 ..... 10

中央卸売市場の概要 ..... 11～13

中央卸売市場の施設概要 ..... 14

経済産業部  
令和7年2月

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
18~19	1 中央卸売 市場費	1 中央卸売 市場費	1 中央卸売 市場管理費	3-2	中央卸売市場管理費 あり方検討委員会費	903 千円

## 1 現状(と課題)

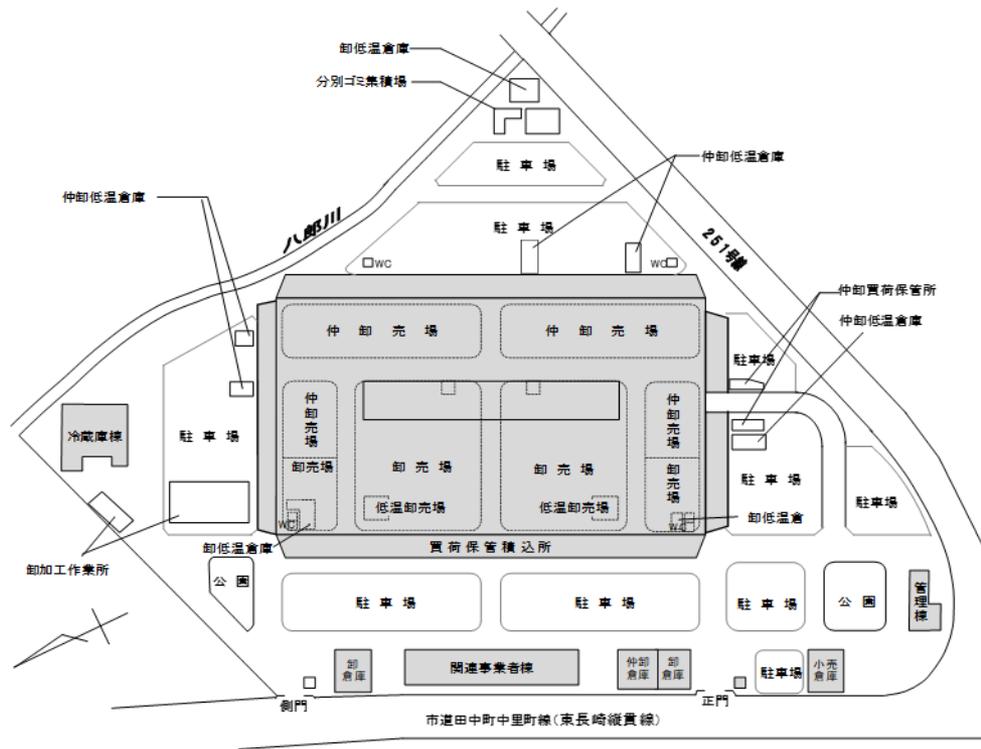
長崎市中央卸売市場は、青果物の安定供給と広域流通を目指し、昭和50年7月1日に開設し令和7年7月で開設から50年目を迎えるが、開設当初からの施設の老朽化や設備機能の陳腐化が見られ問題となりつつある。

公共施設マネジメント計画においては、本市場は、長期使用施設に位置付けており、使用目標を建設（開設）から65年間となる2040年までの期間としていることから、令和5年度に施設使用の残余期間を見据える中で、中長期的な視点での将来的な計画が必要であるため施設再整備のロードマップを策定したところである。

また、本市場を取り巻く環境においても、人口減少や市場外流通の多様化で市場の取扱高は年々減少しており、更には、物流の2024年問題による輸送コストの増加や市場間の青果物の獲得競争が表面化してきている。



# 1 現 状(と課題)



所在地:長崎市田中町279番地4

施設の種類	規 模	適 要(構造等)	
敷 地 面 積	73,417㎡		
建 物 延 面 積	36,251㎡		
卸 売 棟	31,026㎡	S造一部RC造2階建	
内訳	卸売場	14,145㎡	低温卸売施設100㎡×2基
	仲卸売場	7,863㎡	
	買荷保管積込所	5,165㎡	
	関係業者事務所	2,118㎡	
	その他	1,735㎡	庇・便所・階段・塔屋等
冷 蔵 庫 棟	1,412㎡	RC造2階建	
管 理 棟	855㎡	RC造3階建	
関 連 事 業 者 棟	1,640㎡	RC造2階建	
倉 庫 棟	1,045㎡	S造平屋建	
そ の 他	273㎡	守衛棟・屋外便所等	
駐 車 場	屋 上	3,714㎡	122台
	平 面	16,369㎡	595台(アスファルト舗装)
緑 地	2,352㎡		
公 園	1,617㎡	2ヶ所	

# 2 対応方針

2040年までの期間、中央卸売市場施設の適正な管理を行いながら、将来の市場のあり方について検討を進める。

### 3 事業概要

長崎市においては、地方自治法第138条の4第3項等の規定に基づき、行政の執行に必要な調停、審査、諮問又は調査を行う機関として、附属機関を設置している。

今回、次のとおり市長に属する附属機関を設置したいため、『長崎市附属機関に関する条例の一部を改正する条例』の議案により一部を改正するもの。

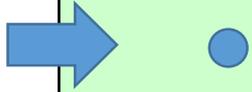
#### 1 附属機関の設置

名称	担当事務
長崎市中央卸売市場あり方検討委員会	長崎市中央卸売市場の将来のあり方に関する必要な事項の調査審議に関すること。

#### 2 附属機関の概要

(1) 名称	長崎市中央卸売市場あり方検討委員会
(2) 設置目的	将来的な中央卸売市場施設の再整備検討にあたり、市民に安全・安心な青果物を安定的に供給するため、市場の活性化を図るとともに、将来のあり方について包括的な議論を行うため設置するもの。
(3) 設置時期	令和7年8月1日
(4) 審議内容	(1) 本市場が直面する施設上及び経営上の課題の精査及び分析 (2) 本市場の将来のあり方
(5) 開催回数	年4回予定
(6) 委員構成	17人以内（学識経験者、関係行政機関、市場関係者、農業関係団体、大規模店舗、公募市民等）
(7) 任期	2年
(8) 報酬	委員長 月額 8,800円 委員 月額 7,900円

#### 4 スケジュール(主なもの)

	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度	備考
	10～3月	4～9月	10～3月	4～9月	10～3月		
附属機関に関する 条例改正等	2月市議会：条例改正 4月：規則制定		R7年8月1日 設置				
委員選任手続 (就任依頼・市民 公募等)							
あり方 検討委員会							答申
あり方・方針等					将来のあり方・ 方針(案)策定		決定 *10年度以降は、 将来のあり方・ 方針を基に取組 を進める

#### 5 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 903	千円 —	千円 —	千円 —	千円 903	千円 —

※ 使用料・手数料

# 6 ロードマップ

長崎市中央卸売市場の再整備に係るロードマップ（現想定）

取組項目	年度													
	2023年度 【令和5年度】 1年目	2024年度 【令和6年度】 2年目	2025年度 【令和7年度】 3年目	2026年度 【令和8年度】 4年目	2027年度 【令和9年度】 5年目	2028年度 【令和10年度】 6年目	2029年度 【令和11年度】 7年目	2030年度 【令和12年度】 8年目	2031年度 【令和13年度】 9年目	2032年度 【令和14年度】 10年目	2033年度 【令和15年度】 11年目	2034年度 【令和16年度】 12年目	2035年度 【令和17年度】 13年目	2036～2040年度 【令和18～22年度】 14～18年目
<b>① 市場再整備に向けた調査・研究</b> ・他都市の整備状況を照会 ・建て替えのロードマップ策定 ・PPP手法検討に必要な情報の収集	●調査研究 ・他都市再整備状況調査 ・ロードマップ（案）策定													
<b>② 再整備に係る整備手法等の庁内での検討（PFI等事業推進委員会含む）</b> ・PPP手法の優先的検討・選択 ・PFI等事業推進委員会の検討結果の検証 【検討項目①定性評価、②定量評価】 ・基本構想、基本計画の策定づくり			●関係部局との調整等 ・あり方検討委員会の資料作成 ・基本構想、基本計画の策定づくり ・関係課との調整 など			← PFI等事業推進委員会との調整協議 →								
<b>③ 中央卸売市場のあり方検討委員会</b> ・目指すべき市場の姿 ・運営方法、市場の活性化への取組 ・市場再整備の方針 ・基本構想、基本計画への意見聴取 など		●.....● ・審議会設置意思決定（委員選出含む） ・審議会条例の別表改正 ・関係経費予算化 など	●検討委員会での審議 ・審議会設置 ・委員委嘱 ・検討委員会開催 ・関係経費予算化 など	●.....● ・審議会設置 ・委員委嘱 ・検討委員会開催 ・関係経費予算化 など	●.....● ・審議会設置 ・委員委嘱 ・検討委員会開催 ・関係経費予算化 など	●.....● ・審議会設置 ・委員委嘱 ・検討委員会開催 ・関係経費予算化 など	●.....● ・審議会設置 ・委員委嘱 ・検討委員会開催 ・関係経費予算化 など	●.....● ・審議会設置 ・委員委嘱 ・検討委員会開催 ・関係経費予算化 など	●.....● ・審議会設置 ・委員委嘱 ・検討委員会開催 ・関係経費予算化 など	●.....● ・審議会設置 ・委員委嘱 ・検討委員会開催 ・関係経費予算化 など	●.....● ・審議会設置 ・委員委嘱 ・検討委員会開催 ・関係経費予算化 など	●.....● ・審議会設置 ・委員委嘱 ・検討委員会開催 ・関係経費予算化 など	●.....● ・審議会設置 ・委員委嘱 ・検討委員会開催 ・関係経費予算化 など	●.....● ・審議会設置 ・委員委嘱 ・検討委員会開催 ・関係経費予算化 など
<b>④ サウンディング型市場調査</b> ・PPP/PFIの簡易の可能性調査			●.....● ・関係経費予算化	●市場調査 ・サウンディング型市場調査		← PPP/PFIの簡易の可能性調査 →								
<b>⑤ 市場のあり方等の方針決定</b> ・市場のあり方、事業手法等の方針決定					★市場のあり方の方針決定									
<b>⑥ 市場再整備の基本構想・基本計画の策定</b> ・再整備でのプロセス毎の基本事項の取り纏め ・施設規模、施設内容、事業費等の設計と併 ・複合させる施設計画（想定） ・パブリックコメント実施					●.....● ・策定委託の事前準備 ・調査内容（仕様）検討 ・関係経費予算化	●基本構想・基本計画の策定 【公募型プロポーザル】 （PFI導入可能性調査を含む） ※パブリックコメント実施								
<b>【PPP/PFI手法のケース】</b>								●.....● ・要求水準書作成等アドバイザー業務委託【公募型プロポーザル】		●PFI事業者公募				
								●.....● ・アドバイザー契約等の予算化 ・実施方針（案）の策定 ・募集要項（案）及び事業者選定基準（案）の策定						●基本・実施設計（PFI事業者） ●建設工事（PFI事業者） 【工事期間は未定】
								●.....● ・外部委員報酬等の予算化 ・委員の選出など	●PFI等審査会 実施方針（案）の審議 募集要項（案）、事業者選定基準（案）の審議					
								●.....● ・基本設計関係の予算化	●基本設計業務 ・工事工程の検討、平面図、立面図、鳥瞰図など		●実施設計業務委託 ・構造設計、構造計算、設備設計など			
<b>【従来手法のケース】</b>														●建設工事【工事期間は未定】

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
18~19	1 中央卸売 市場費	1 中央卸売 市場費	1 中央卸売 市場管理費	3-4	中央卸売市場管理費 中央卸売市場開設50周年 記念事業費	千円 3,527

## 1 現状(と課題)

長崎市中央卸売市場は、青果物の安定供給と広域流通を目指し、田中町に昭和50年7月1日に開設し、令和7年度に50周年を迎える。

本市場は、毎日の食生活に欠かせない生鮮食料品などを全国各地から多種多量に集め、せり等の取引により適正な価格をつけて、安定的に消費者に供給する流通拠点の役割を担っている施設である。

しかし、本市場を取り巻く環境は、人口減少のほか、ネットスーパーや直売所、産地直送といった市場外流通の多様化、加えて産地の後継者不足による生産者の減少により、市場の取扱高は、年々減少している状況にある。

また、卸売業者や仲卸業者、八百屋、くだもの屋といった小売店である売買参加者などの市場関係者も開設当初と比べ、経営統合や後継者不足による廃業などで減少している。さらに、物流の2024年問題による輸送コストの増加や全国の市場間での青果物の獲得競争も表面化してきている。

## 2 対応方針

市場関係者のこれまでの功績を称える記念式典の開催及び市民への感謝と市場PRを兼ねた記念イベントを実施し、市場の活性化と青果物の消費拡大につなげる。

### 3 事業概要

長崎市中央卸売市場の開設50周年にあたり、市場の発展に寄与した団体及び個人への功労者表彰を行う記念式典を開催する。また、開設50周年記念イベントを実施して、市民への感謝の意を表すとともに、市場が果たしている役割や仕組み等をPRし、市場の活性化と青果物の消費の拡大を図る。

1 事業名：中央卸売市場開設50周年記念事業費

2 事業費：3,527千円

3 事業内容：

(1) 「開設50周年記念式典」の実施 1,527千円 ※同日に式典後、祝賀会を市場関係者負担で実施予定

ア 内容：功労者表彰

イ 事業主体：長崎市

(2) 開設50周年記念イベント負担金 2,000千円

ア 内容：市民への感謝の意を表すとともに、市場が果たしている役割や仕組み等をPRし市場の活性化と青果物の消費の拡大を図るための事業を実施する。

その内容については、企画提案型のプロポーザル方式で決定する。

イ 事業主体：（仮称）長崎市中心卸売市場開設50周年記念事業実行委員会

ウ 予算額：4,000千円（内訳：市場関係者負担金 2,000千円、市負担金 2,000千円）

#### 4 スケジュール

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
プロポーザルによる事業者決定				
記念式典・祝賀会の準備開催				(11月頃実施予定)
記念イベント実施				

#### 5 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
千円 3,527	千円 —	千円 —	千円 —	千円 3,527	千円 —

※ 使用料・手数料

## 中央卸売市場事業特別会計当初予算比較表

(歳入)		(単位：千円)		
事項名等	令和7年度 (構成比)	令和6年度 (構成比)	比較	
使用料	141,269 (55.4%)	142,705 (50.8%)	△ 1,436	
卸売業者市場使用料	48,807	48,714	93	
卸売業者売場使用料	12,323	12,323	0	
低温売場施設使用料	2,294	2,294	0	
仲卸業者市場使用料	647	432	215	
仲卸業者売場使用料	17,107	17,107	0	
買荷保管積込所使用料	12,866	13,033	△ 167	
倉庫使用料	7,262	7,262	0	
冷蔵庫使用料	5,312	5,312	0	
関連事業者市場使用料	6,743	5,619	1,124	
関係業者事務所使用料	11,522	13,792	△ 2,270	
仮眠所使用料	297	297	0	
会議室使用料	8	3	5	
屋上駐車場使用料	52	52	0	
空地使用料	15,788	16,260	△ 472	
土地使用料	241	205	36	
手数料	0 (0.0%)	1 (0.0%)	△ 1	
市場使用料督促手数料	0	1	△ 1	
財産運用収入	1 (0.0%)	1 (0.0%)	0	
利子及び配当金	1	1	0	
一般会計繰入金	59,916 (23.5%)	43,235 (15.3%)	16,681	
雑入	53,605 (21.0%)	55,754 (19.8%)	△ 2,149	
電気使用料	53,545	55,697	△ 2,152	
業者章売払代金	59	56	3	
複写手数料	1	1	0	
市債	- (0.0%)	39,300 (14.0%)	△ 39,300	
合計	254,791 (99.9%)	280,996 (99.9%)	△ 26,205	

(歳出)		(単位：千円)		
事項名等	令和7年度 (構成比)	令和6年度 (構成比)	比較	
中央卸売市場費	230,476 (90.5%)	260,978 (92.9%)	△ 30,502	
職員給与費	66,914	67,267	△ 353	
交際費	60	120	△ 60	
取引運営委員会費	340	359	△ 19	
中央卸売市場あり方 検討委員会費	903	-	903	
施設維持管理費	143,026	134,457	8,569	
中央卸売市場オープン化 推進事業費	-	1,000	△ 1,000	
中央卸売市場 開設50周年記念事業費	3,527	-	3,527	
事務費	15,706	18,275	△ 2,569	
【単独】中央卸売市場 施設整備事業費	-	36,100	△ 36,100	
【単独】次世代自動車 購入費	-	3,400	△ 3,400	
公債費	23,815 (9.3%)	19,518 (6.9%)	4,297	
元金	22,936	18,916	4,020	
利子	879	602	277	
予備費	500 (0.2%)	500 (0.2%)	0	
合計	254,791 (100.0%)	280,996 (100.0%)	△ 26,205	

## 中央卸売市場の概要

### 1 目的及び役割

中央卸売市場とは、私達の毎日の食生活に欠かせない生鮮食料品などを全国各地から多種多量に集め、せり等の取引により適正な価格をつけて、安定的に消費者に供給する流通拠点である。

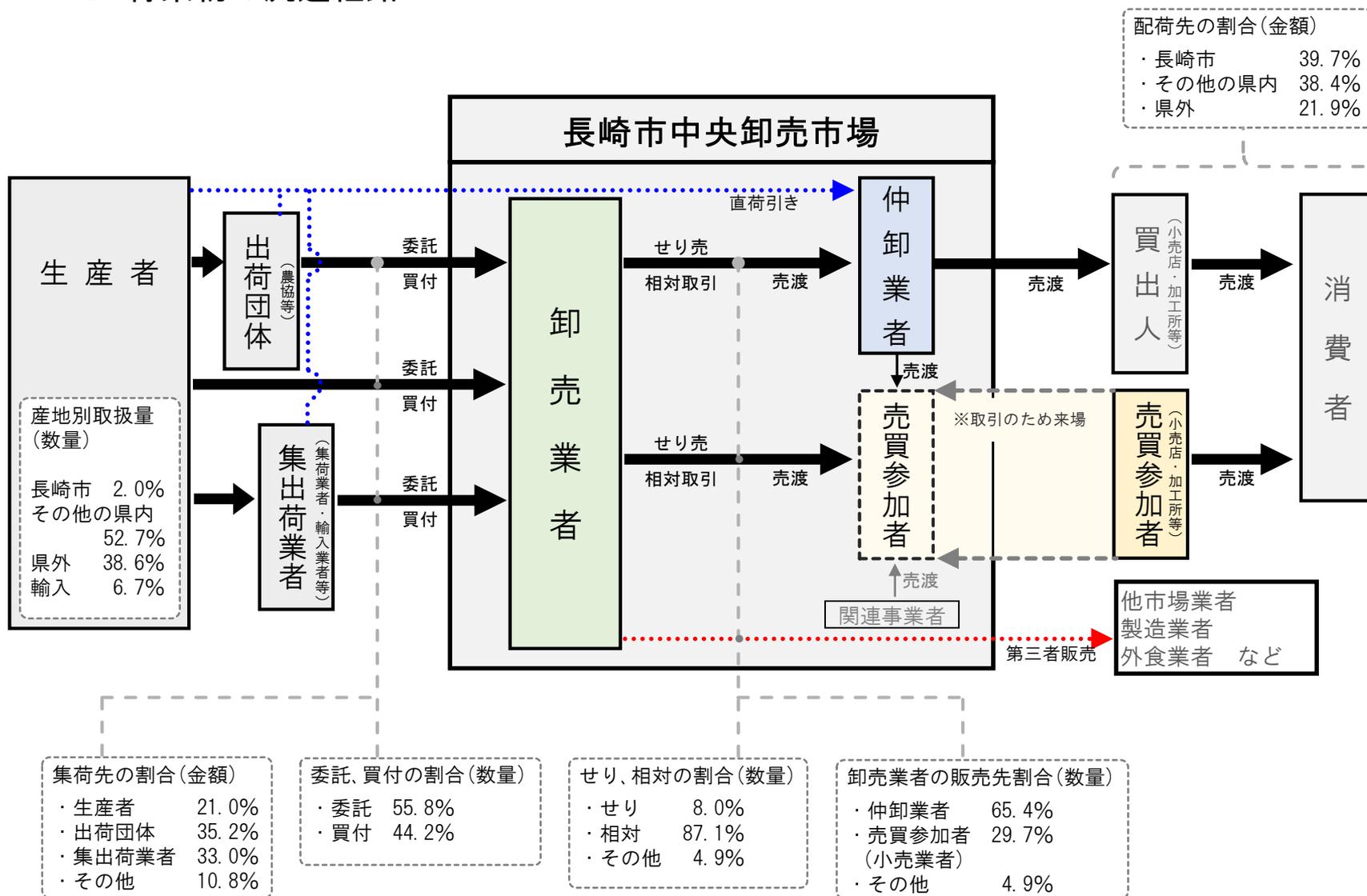
- ・全国中央卸売市場数(R6.4.1現在)  
→ 64(39都市)うち青果50(38都市)
- ・全国市場経由率(R3年度) → 53.9%
- ・国産青果物の市場経由率(R3年度) → 76.4%

### 2 市場関係者

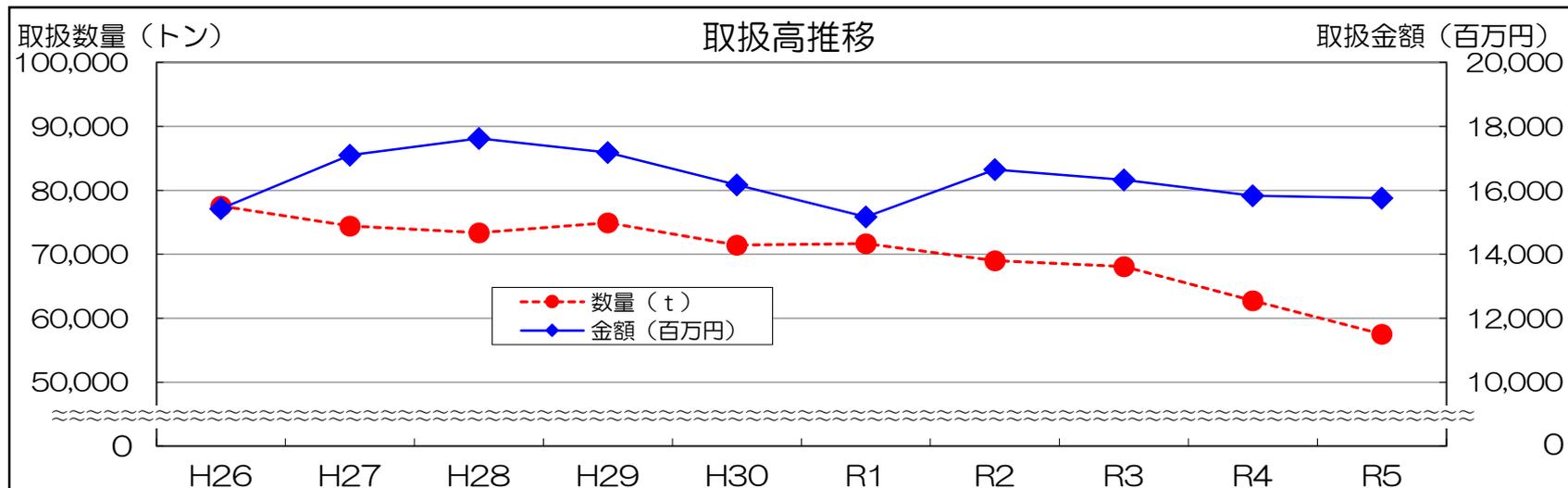
(R7.1.1現在)

業種	業者数	備考
卸売業者	1	・長崎でじま青果株式会社
仲卸業者	18	・長崎市青果卸業協同組合(15業者) ・大長崎青果組合(1業者) ・長崎市青果物商業協同組合(2業者)
売買参加者	115	・長崎市青果物商業協同組合(88業者) ・長崎青果丸和組合(8業者) ・大長崎青果組合(8業者) ・長崎協和青果組合(6業者) ・長崎新青果組合(3業者) ・浦上組合(2業者)
関連事業者	9	・関連商品売場ほか

### 3 青果物の流通経路 (※データ:令和5年度)



## 4 年度別取扱高状況



(数量:トン、金額:百万円)

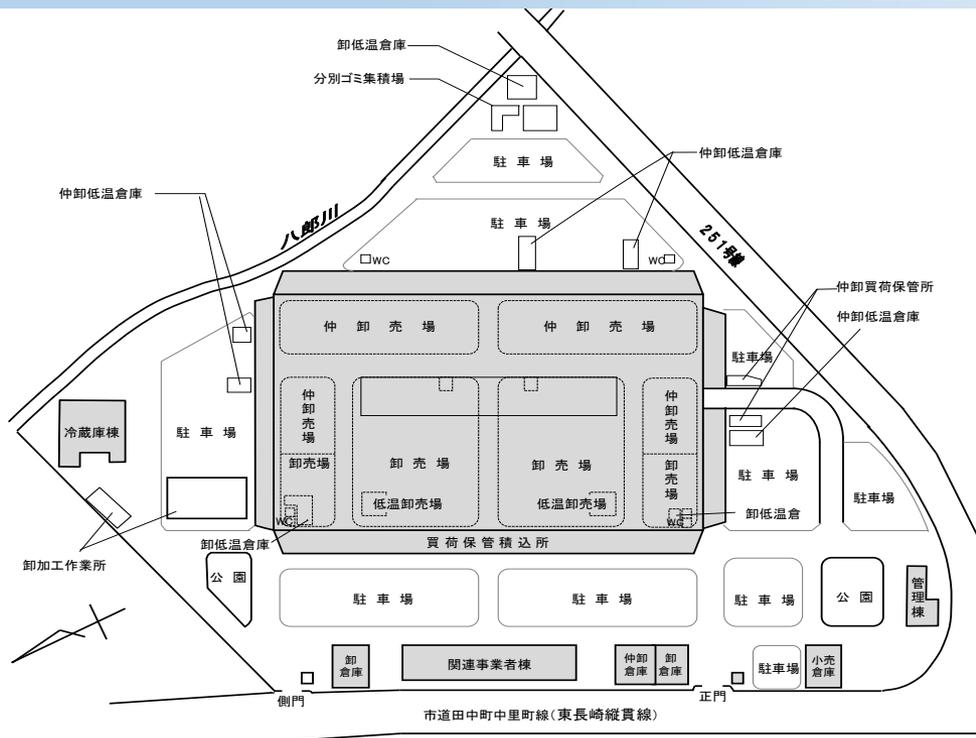
		H 2 6 年度	H 2 7 年度	H 2 8 年度	H 2 9 年度	H 3 0 年度	R 元 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
野 菜	数量	57,211	56,061	55,427	56,133	53,308	53,768	51,333	49,726	46,552	42,937
	金額	9,916	11,304	11,857	11,437	10,407	9,565	10,491	9,962	9,779	9,669
果 実	数量	20,316	18,336	17,958	18,809	18,126	17,883	17,679	18,356	16,200	14,568
	金額	5,512	5,793	5,765	5,744	5,760	5,606	6,154	6,367	6,056	6,084
総取扱高	数量	77,527	74,397	73,385	74,942	71,434	71,651	69,012	68,082	62,752	57,505
	金額	15,428	17,096	17,622	17,181	16,167	15,171	16,644	16,329	15,835	15,753
前年度比 (総取扱高)	数量	93.8%	96.0%	98.6%	102.1%	95.3%	100.3%	96.3%	98.7%	92.2%	91.6%
	金額	97.0%	110.8%	103.1%	97.5%	94.1%	93.8%	109.7%	98.1%	97.0%	99.5%

※改正卸売市場法施行(R2.6.21)による新たな集計方法により取扱高を記載。

※取扱高減少の要因：人口減少による需要減

業務用需要の増などによる家庭需要の減(高齢者施設や単身世帯、共働き世帯の増加) など

# 中央卸売市場の施設概要



所在地:長崎市田中町279番地4

施設の種類	規模	適要(構造等)	
敷地面積	73,417㎡		
建物延面積	36,251㎡		
卸売棟	31,026㎡	S造一部RC造2階建	
内訳	卸売場	14,145㎡	低温卸売施設100㎡×2基
	仲卸売場	7,863㎡	
	買荷保管積込所	5,165㎡	
	関係業者事務所	2,118㎡	
	その他	1,735㎡	庇・便所・階段・塔屋等
冷蔵庫棟	1,412㎡	RC造2階建	
管理棟	855㎡	RC造3階建	
関連事業者棟	1,640㎡	RC造2階建	
倉庫棟	1,045㎡	S造平屋建	
その他	273㎡	守衛棟・屋外便所等	
	駐車場	屋上 3,714㎡ 平面 16,369㎡	122台 595台(アスファルト舗装)
緑地	2,352㎡		
公園	1,617㎡	2ヶ所	

